

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	サンシャイン黒崎	階数	地上12F
建設地	北九州市八幡西区熊手三丁目14-9	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	154人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年12月 予定	評価の実施日	2012年7月8日
敷地面積	834 m <sup>2</sup>	作成者	(株)小野設計 秋本 崇之
建築面積	405 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	3,863 m <sup>2</sup>	確認者	

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: A: B+: B: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	商業地域である黒崎中心市街地に建設する共同住宅であり、まちなか居住というコンセプトで、駐車場の確保や、採光等住みやすい居住環境を考えて計画しています。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
自然の光と換気を多く取り入れるために開口部の大きさや、レイアウトを考え、また開口部(サツ)も遮音性能T-2を確保し、またLOW-Eガラスを一部採用して室内環境の充実に図っています。	躯体の耐久性を高めるために、材料を考慮し、管理のしやすい設計、材料選定を行っています。	緑地を確保し、中高木を入れて自然と共生するような環境としつつ、玄関オートロック機能等、セキュリティ機能を高め、防犯性能を高めています。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
全戸について燃料系潜熱回収瞬間式給湯器を採用してエネルギーの効率化をしています。	電気、通信、情報設備について、精密機械の地下空間への設置を避けています。	風下となる地域への風通しに配慮し敷地外への熱的な影響を低減するような建物形状とし、配置としており、また駐輪台数、駐車台数も適切な量を確保しております。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい